

平成26年度 第1回 亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び
亀岡市地域包括支援センター運営協議会 会議録

第1 会議概要

- 1 日 時：平成26年6月30日（月）13時30分～15時10分
- 2 場 所：亀岡市役所202・203会議室
- 3 出 席：吉中委員、高尾委員、井上委員、大西委員、原田委員、藤本委員、石田委員、森委員、今西委員、竹岡委員、小林委員、天野委員
- 欠 席：平岡委員、杜委員、岡崎委員
- 包 括：地域包括支援センター あゆみ 松本
地域包括支援センター かめおか 前川
地域包括支援センター シミズ 吉村
地域包括支援センター 亀岡園 前野
地域包括支援センター 友愛園 瀬野、松田
- 事務局：玉記健康福祉部保健・長寿担当部長
小栗高齢福祉課長
山内介護保険係長
松本いきいき支援係長
永田いきいき支援係主任
中山健康増進課保健衛生係長

第2 会議次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1) 自己紹介
 - (2) 正副会長選出
 - (3) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会
平成26年度地域密着型サービス事業者の指定及び公募について
 - (4) 亀岡市地域包括支援センター運営協議会
 - ア 平成25年度実績報告及び平成26年度事業計画について
 - イ 地域包括支援センター収支決算及び予算について
 - ウ 指定介護予防支援委託届について
 - エ 地域包括支援センター在り方検討委員会(仮称)の設置について
 - (5) その他
- 3 閉会

第3会議内容

司会：小栗課長

挨拶：玉記担当部長

(1) 自己紹介

委員

京都学園大学	吉中委員
京都府南丹保健所	高尾委員
自治会連合会	大西委員（新任）
老人クラブ連合会	原田委員
民生委員児童委員協議会	藤本委員
市民委員	石田委員（新任）
市民委員	森 委員（新任）
京都府介護支援専門員会	今西委員
社会福祉協議会	竹岡委員（新任）
亀岡市薬剤師会	小林委員（新任）
亀岡市歯科医師会	天野委員
《遅れて出席》	
井上合同事務所	井上委員

事務局

玉記健康福祉部保健・長寿担当部長

小栗高齢福祉課長

山内介護保険係長

松本いきいき支援係長

永田いきいき支援係主任

中山健康増進課保健衛生係長

包括支援センター

地域包括支援センター	あゆみ	松本
地域包括支援センター	かめおか	前川
地域包括支援センター	シミズ	吉村
地域包括支援センター	亀岡園	前野
地域包括支援センター	友愛園	瀬野、松田

(2) 正副会長選出

会長は吉中委員。

吉中会長が平岡委員を副会長に指名。

(3) 亀岡市地域密着型サービス運営委員会

平成26年度地域密着型サービス事業者の指定及び公募について

- ・地域密着型サービス事業者の新規指定及び更新指定について
事務局が資料1に基づいて説明。

区域外指定事業所の利用者は6月末現在で4名

- ・亀岡市地域密着型サービス事業者の公募について

亀岡地区及び中部地区は他圏域に比べて介護保険施設が少ないことから整備を進め、平成27年度に指定する予定。

【質疑応答】

委員：平成25年度指定法人の施設整備に係る建設費の補助金は、全額国が持つということで市町村の持ち出しは無かったということだった。本年度の新規事業も同様の措置か？法人の指定許可期間が本日以前のものは廃止か？

事務局：補助金の件は、地域密着型事業所整備について建設補助と運営補助（いずれも10/10京都府の補助）を支出している。26年度公募も、6月亀岡市議会で亀岡市の補助金を補正上程し議決頂いたところである。

地域密着型サービス事業所は、2法人ともご利用者が既におられない状況のため、指定更新はせずに廃止である。

(4) 亀岡市地域包括支援センター運営協議会

ア 平成25年度亀岡市地域包括支援センター実績報告及び平成26年度事業計画について

資料2に基づいて説明。

イ 地域包括支援センター収支決算及び予算について

資料3に基づいて説明

包括ごとの差はあるが、総体的に決算は委託料を上回る支出が現状となっている。

介護予防ケアプランは介護報酬として委託費用とは別にプランを作成したことでの収入となるが、要支援者の増加に伴い、その他の包括の本来業務が圧迫されている状況である。平成24年度に国が行った全国調査の中でも「(プラン作成の)負担率が高い」との結果もあり、課題と考えている。

また各包括職員の経験年数に差があり、人件費がばらついている。このような現状から包括への委託の在り方を今後どの様に考えていけば良いのかも検

討していきたいと考えている。

【質疑応答】

委員：資料の収支決算と包括の職員配置数の説明で、職員の配置人数が委託契約数よりもどこも増えていること、法人が補てんされている金額は結構な金額である一方、補てん額がない包括もあり、包括間の差が大きく包括支援センターの業務体制についてどう考えるか聞きたい。

事務局：包括ごとの高齢者数の経年比較で、高齢者数は今後も増加が見込まれる。高齢者の増加に伴い包括の人件費、物件費も増えていくことを予想している。今後は、包括の運営や人材配置等、包括の在り方について検討していく必要があると考えている。法人からの補てんに関しては、包括の配置人員の考え方、法人の会計の考え方もあり、これを均一にしていくことは現状では難しいかと考えている。

地域支援事業予算の限度額もあるが、近隣の市との均衡や後程協議予定の包括在り方検討委員会の意見も踏まえて適正な委託料について財政当局との協議を考えている。

収支決算は各法人の会計の考え方にバラつきがあるため収支を合わせた状態である。

ウ 指定介護予防支援委託届について（報告）

資料4に基づいて説明

エ 地域包括支援センター在り方検討委員会（仮称）の設置について

資料5に基づいて説明

事務局：昨年度のこの会議で包括支援センターの在り方委員会の方向性についての検討を了解頂きましたので今回案を提示した。本日質問のあった人員配置や委託料のことをどう考えるのか、また6月18日に成立した「地域医療・介護総合確保推進法」等、新しい法律の中でおいてくる様々な業務について地域包括支援センターの担う役割は増々大きくなっていくと予測される。このようなことについてどう考えるのか、包括在り方検討委員会を設置しご協議頂き、包括支援センター運営協議会にその検討結果を報告していくこととしたい。

ー設置要領（案）を資料に沿って説明ー

【質疑応答】

委員：何年も前から地域包括支援センターの業務が相当大変なのだと感じていた。

今後の社会を見据えながらどうしていくかを考えないといけないと思っているのでぜひ検討したい。

－委員長が挙手にて採決。全会一致で委員会設置に賛成－
事務局案にて岡崎委員、平岡委員、竹岡委員、今西委員、森委員、石田委員、藤本委員、大西委員を包括在り方検討委員会委員として提案。委員長より指名を行い、異議なし。

閉会